

すべての人に読書の楽しさを【中学校】

- 1 主題名** よりよい社会の実現 **内容項目** C 社会参画、公共の精神
- 2 ねらい** 主人公の困難に挫けそうになる心と、すべての人が生きやすい社会を実現しようと行動する姿について話し合う活動を通して、よりよい社会の実現のために何ができるか考えようとする実践意欲を育む。

3 展開例

	学習活動と主な発問	指導上の留意点
導入	<p>1 よりよい社会を実現していくことについて考える。</p> <p>・皆さんは、これからどんな社会を作っていきたいですか。また、今の社会の抱える課題は何かありますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自由に発言できる雰囲気をつくる。 ・生徒の意見を分類する。(自分のため、人のため、世界のため、環境のためなど) ・授業後半に振り返りができるようにまとめる。
展開	<p>2 教材「すべての人に読書の楽しさを」を聞き、話し合う。</p> <p>(1)佐藤さんはどのような人物だと感じたか。また、佐藤さんが目指す社会とは、どんな社会だと思うか。</p> <p>(2)完成したデジジ図書が日本で普及しなかったとき、佐藤さんはどんなことを思っただろうか。</p> <p>(3)「今日はなんてよい日なんだろう。」と言った佐藤さんはどんな気持ちだっただろうか。 (補助発問) 佐藤さんや社会はどのようになって行くだろうか。また、それはなぜか。</p> <p>3 本時の学びを通して、振り返る。</p> <p>(1)みんなが目指す社会を作るためには、どんなことが大切だろうか。また、あなたはどんなことをしていきたいと思うか。</p> <p>(2)今までの自分の生活を振り返り、今日の授業で考えたことや感じたことを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害者の自分だからこそといった前向きな気持ちを捉えさせる。 ・どんな人ものびのびと生きられる社会。 ・「必要とされていないならやめようか」というようなマイナスな気持ちも引き出し、心の奥に潜む葛藤について考えさせる。 ・自分のやってきたことは間違いなかった、親子に幸せな時間を与えることができたという気持ちに共感させたい。 ・一人の社会への思いが波紋のように広がり、やがて社会を変えていけるような大きな力へとなることにも気付かせたい。 ・誰かが作っていくものではなく、自分から行動していくものであることに気付かせたい。 ・それはなぜか、理由(気持ち)を問い、漠然とした解ではなく、真の理解に近づけたい。 ・佐藤さんの仕事に対する思いに触れる。※参考動画資料 <p>※上に示してある参考動画資料は、文字の読み書きに著しい困難を抱える障害について説明した動画(約7分)なので、事前指導や事後指導に活用することが可能である。</p>
終末	<p>4 佐藤さんの動画を視聴する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・より良い社会の実現のために何ができるか考え続けていこうという雰囲気で終える。



4 教材作成の意図と取扱いの留意点

現在、ICTを活用することにより、今まで以上に多様な表現をすることや、多様な人々との交流をすることが可能となってきた。そこで、本教材は、そのようなICTのプラス面に触れることを通して、ねらいに迫ることができるよう作成した教材である。

また、埼玉県の実在の人物を取り上げ、身近な教材として親しみやすいものとなっている。一方で、登場人物の偉業に感銘するのみにとどまってしまう可能性もあるため、何事も小さなことから始まり、やがて多くの人々へ波及していくといった社会連帯の視点からも捉えさせたい。